



(C) 国際航業株式会社・株式会社パスコ

(写真) 国際航業株式会社 提供

村民の皆さまへ

熊本大震災から1か月、改めてこの度の震災でお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りし、御家族の皆さまにお悔やみを申し上げます。また、負傷された方々、全ての被災者の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。村を襲ったかつてないほどの大地震は、多くの犠牲者を出し、大動脈の国道57号線や依山トンネルの損壊、阿蘇大橋の崩落、JR豊肥本線の寸断、村道、農地などの亀裂・損壊、土砂災害などにより道路網が寸断され、孤立化するなど、だれもが経験したことのない事態となりました。村は、直ちに災害対策本部を立ち上げ、警察、消防、自衛隊、国、県の全国の地方自治体、そして多くのボランティアの皆さまの応援の下に、被災者の救助や不明者の捜索、情報収集、避難所の運営など、あらゆる対応を行ってまいりました。

応援いただいた皆さまに、心から感謝申し上げます。また、村のライフラインの中で、停電は解消され、生活道路も徐々にですが、通行できるようになってきました。しかし、いまだ、900世帯余りに断水が続いており、余震が続く不安の中で、避難されている方が数多くいらっしゃいます。

今後、村民の皆さまの日常を取り戻すため、り災証明書の発行、仮設住宅の建設など、一日も早い生活の再建に向けて、これらの動きを加速させていかなければなりません。村民の皆さまのご理解、ご協力を心からお願い申し上げます。

南阿蘇村災害対策本部長

村長 長野敏也